

第19回 福山教育フォーラム 第4分科会

—地域とともにある学校づくり—

福山市立鞆の浦学園

1. 地域とともにある取組

2. コミュニティスクール(CS)導入にあたって

3. 1学期の外部人材活用例

1. 地域とともにある取組

○ 外部人材の積極的な活用

- ・「韃学」等で出前授業・・・プロボノメンバー(地域の専門家)等
- ・図書ボランティア・・・毎週月曜日, 人数15名
- ・チャレンジウィーク・・・7・8年生が14事業所

○ 地域の伝統文化の継承等

- ・なでしこ太鼓, 琴・・・4月宮城道雄生誕祭, 7月お手火祭
- ・韃の浦ボランティアガイト・・・6年, 9年
- ・地域清掃活動・・・毎週火曜日, JRC活動の一環

○ 児童生徒作品展示・・・歴史民俗資料館, 藤井病院, さくらホーム等

2. コミュニティスクール(CS) 導入にあたって

○ 意 図

- ・やっていることはCSそのもの、さらに学校運営、教育内容の質を高めるため。

○ 協議会委員へのお願い

- ・普段から気軽に学校に来て、リアルな子ども達 & 教職員を見てほしい。
- ・「『いのち、輝く』子どもの姿」なのかを柱にご意見をいただきたい。
- ・韃の浦版コミュニティ・スクールをつくっていきたい。

(組織図はなし)

3. 1学期の外部人材活用例

読み聞かせボランティア(15人)



毎週月曜日実施。本の世界に自由に出入りして楽しめる想像力を養う。

アマノフーズ島村雅人さん(ドライフーズ加工)



コロナ禍における食品加工の工夫が知りたい！（特別支援学級）

中国新聞 山川文音記者



地元出身の新聞記者に
記者として働く心構えを
うかがう。(4~9年)

「地域の喜怒哀楽に寄り
添える仕事がしたい」

「自分にしかできないこ と
はなんだろう」

山川文音記者とのその後...



学園会新聞を作るため
逆取材を試みて
アドバイスを求める。

ボランティアガイド宮本和香さん



地元で活動する
ボランティアガイド宮本さん
(学校運営協議会委員)

ガイドのポイントや
話し方のコツを学び、

6年生が自分たちのガイドに活
用する。

魚移動販売 衣笠睦生さん



車で採れる魚を知り、歳時記を作る。
(特別支援学級)

栄養教諭 川崎 舞先生



食に関する啓発授業

栄養のバランスを考えた
食生活の大切さを知る。
(2年)

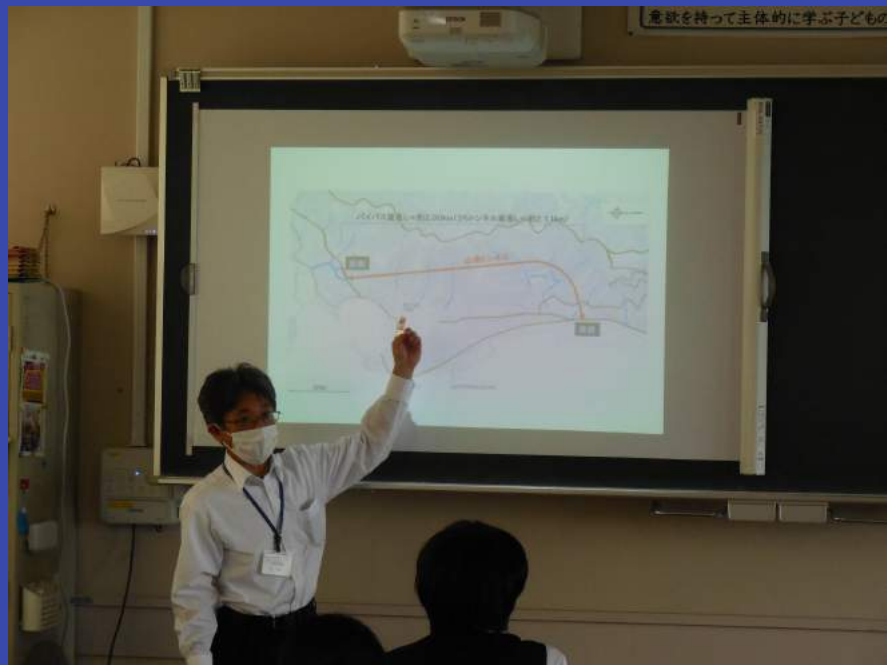
7・8年生 職場体験学習



9年生 大学&専門学校訪問



靱地区まちづくり推進事業所長 奥野哲哉さん



靱のトンネル工事にたずさわる
奥野所長から

まちづくりに関する課題や
大切にしていることを
意見交流。(4・7・8・9年)

横浜国立大学教授 細田 暁さん(学校運営協議会委員)



防災学習の視点からアドバイスをもらう。(4年)

これからの予定

○ 現状・今後

- ・協議会委員の授業参観や職員との対話が始まっている。
- ・児童生徒代表の組織「学園会」と対話をする予定.....

